



こーほーちゃん

すまいる通信

vol.3

(令和6年11月発行)



利用者の豊かな人生を目指してーびあ西を、地域の皆様に知ってほしいー びあすまいる西センター 所長 本田紀美代

びあすまいる西センターは、本年2月新築移転しました。その節は、設計関係者の皆様は勿論、ご利用者、ご家族の皆様にはご理解とご協力を頂き、滞りなく移転することができたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、私達は、地域の皆様にご利用者を知って頂きたいとの強い思いから、施設と地域との結びつきに重点を置いています。

その思いを実現するため『すまいる新聞』を発行しています。この新聞はご利用者の日常と、職員の支援の様子を“見える化”しており、この“見える化”により、ご家族を含めた地域の皆様が、びあ西での日常を“疑似体験”して頂ける事を期待しています。そして、ご利用者との距離が近まり、地域と繋がることができたら大変嬉しいです。また、生産活動にも力を入れております。これも同様にご利用者と地域が結びつくきっかけとなればと願っています。

ところで、新築したこの施設には、様々な夢や希望が散りばめられています。それは、私達が設計段階で語り尽くした、ご利用者と楽しみたいという理想の塊です。この夢が詰まった施設を上手に生かしていくためには、私達がご利用者の思いを引き出すスキルの向上が必須です。そのために、日々丁寧な支援を心掛けて成長して参ります。

私も一支援者として、ご利用者お一人お一人の声に耳を傾け、その思いを実現するために、職員、家族、地域、社会が繋がる、大きなワンチームの形成を、この施設から目指して行きます。

ぴあすまいる西センター移転開設から半年！



新築移転して半年が過ぎたぴあすまいる西センター。 移転に関して、安藤支援員に話を聞きました。

移転して半年、現場の雰囲気は？

移転前後は慌ただしく、「事故無く！」「丁寧に！」を職員間で声を掛け合い過ごしました。利用者様それぞれの障がい特性に応じて、ご負担になら無いようにと、担当職員を固定するなど工夫を凝らしました。移転後の今、利用者様には前と変わらず安心してご利用頂けているものと自負しています。

新生ぴあ西への展望は？

建設にあたり、職員と設計事務所側と何度も話し合いました。それは、私達のウリである「明るさ」をそのまま持ち込むこと、利用者様と楽しく過ごしたい等で、具体的にはバザーができる空間や、ピザ窯設置等自由に語りました。

前の施設は小さくはありましたが、利用者様との距離が近く、皆と一致団結し易い面がありました。この団結して盛り上がっていく一体感も欲しいと思っていました。さて、こうして形になった施設は、利用者様皆さん満面の笑顔でした。私達職員は、この施設を生かせるよう、スキルを上げていきたいです。

ぴあ西が大事に取り組んでいることは？

1つは、ホワイトボードの活用です。それは、その日の予定や入浴介助など様々な情報がホワイトボードに集約されます。これは前日の終礼で、送迎のもれがないか？職員配置は適切か？など複数の目で見て話し合います。この情報を集約させることは大変ですが、安全はもちろん、利用者様が楽しまれ、職員が自信を持って働くことが出来るため

の大事なツールと感じています。また、週末にヒヤリハットの振り返りをして、翌週の目当てを決めますが、それもホワイトボードに大きく提示します。

もう一つは、『すまいる新聞』です。利用者様の日常の様子を通して、職員の取り組みを発信し、ご家族との信頼関係構築に努めています。月1回お届けしていますが、今年で10年目です。「新しい職員さん入ったね」「いい笑顔で載ってたね」等の反応を知ると、ぴあ西のご家族からの関心や、理解が深まっているものと感じます。

今回の移転も、ご家族の協力が大きかったです。「支援業務に集中して」と、ご家族の皆さんが荷造りや荷ほどき等をご協力下さいましたし、開所式の蘭の植え替えを、今も気にかけて下さる方もいます。他にもありますが、感謝しきれません。

最後に

利用者様の様子だけでなく、職員の失敗もご家族へ報告しますが、それは、「ぴあ西での出来事は、全て報告してくれる」とご家族の安心感に繋がっています。職員とご家族の何でも伝え合える関係性は、移転へのご理解と現在の安定した運営に繋がっていると感じています。





大好きなラーメン! いただきます!! ピアサポート



テラスで育てたりんごいっぱい実ったよ ぴあすまいる西



浴衣を着て夏祭りへGO!! ぴあすまいる東



演歌舞蹈教室のみなさん 福岡 100プラザ城南(寿楽園)



コスモスとんぼとそれから私 城南生活介護



はい! ポーズ!! 城南フレンド

みなさんの笑顔に癒されまくってます

SMILE PHOTO STREET



祝! 70歳! 東フレンド



お手製のボールプールでにっこり 西生活介護



納品に来ました~! 清水ワーク



ポッチャでライジングに成功 博多フレンド



風船に包まれて♪ 博多生活介護



おいさー! ほいさー! 東生活介護



春から仲間! 内定式 事務局



夏祭りでヨーヨー釣り! 南生活介護



和服をリメイク教室 ちくちく☆わくわく☆にここ
南フレンド

今回はなぜか
丸いモノと一緒に
の写真が目立ち
ますね~





博多障がい者フレンドホーム（生活介護）

～日々の「活動」の様子～

博多フレンドホーム生活介護では、ご利用者に一日を楽しんでもらうため、午前午後の中で様々な活動をおこなっています。室内での活動をはじめ、屋外活動、少し離れたところへ季節を感じるドライブといった活動に取り組んでいます。特に外出活動がご家族にも好評のため、日々の活動も合わせてコロナ禍で縮小した外出を徐々に再開して、ご利用者の笑顔を更に引き出せるよう日々努力していきます。



facebook



清水ワークプラザ

～お仕事、頑張ってます！～

清水ワークプラザでは、名刺や冊子などを作製する「印刷部門」と、お菓子の箱折りなどを行う「軽作業部門」があります。印刷部門では近年オリジナル製品の開発に力を入れており、保護猫の支援をしている伊都にゃーご様とコラボした猫ノートや紙製ファイルの他、季節毎に表紙を替える「50円メモ帳」は大人気商品です。軽作業部門では箱折りの他に、「メルカリの販売代行」「DMの検品」「店舗清掃」などを請け負っています。また、納品も大事な仕事です。受注先へ届けた時に「お疲れ様でした」「ありがとう」と声をかけてもらうことは私たちににとってとても嬉しく、『また頑張ろう』という気持ちになります。これからもみんなが楽しくやりがいを持って働けるような事業所でありたいと思います。



facebook



委員会の活動紹介 「リスクマネジメント委員会」の巻

リスクマネジメントシステム委員会では介護や交通事故、個人情報流出等のリスク管理、事故防止のための研修企画などを行っています。毎月、各事業所からのヒヤリハット報告を事故の分類毎に集計、どんな事故が、どの時間帯や曜日で多発しているか分析し、上位委員会の危機管理委員会へ結果を提出。その結果を元に大きな事故を未然に防ぐための対策や注意点を各事業所に伝えています。また各事業所毎で事故発生後の3か月と6か月後の検証の浸透と毎月の分析を行うための仕組み作り、介護事故防止や個人情報保護の研修等取り組んでいます。この活動でご利用者・ご家族が安心してサービスを受けて頂く事は勿論ですが、職員も安心して働ける職場になる事を目指しています。（リスクマネジメントシステム委員会 リーダー 荒木）

